

# 支配人会の 労働災害実態調査



2019年は重大事故12件、

死亡事故が2002年レベルに

ゴルフ場従業員数は3年ぶり

減少の11万690人



2019年の全国労災件数は  
1015件

日本ゴルフ場支配人会連合会  
(田村和男会長、東京都台東区、☎  
3851・8405) は先ごろ、  
2019年(平成31年/令和元年)  
1~12月のゴルフ場における労働  
災害件数及び従業員数を調査し、  
その結果を明らかにした。

同調査対象は、静岡県を除く全  
国46都道府県の同連合会加盟17  
16コース(事業所)で、東日本  
ゴルフ場支配人会連合会(加盟8  
55コース)と西日本ゴルフ場支  
配人会連合会(同861コースⅡ  
一部非加盟クラブを含む)がそれ  
ぞれ集計している。

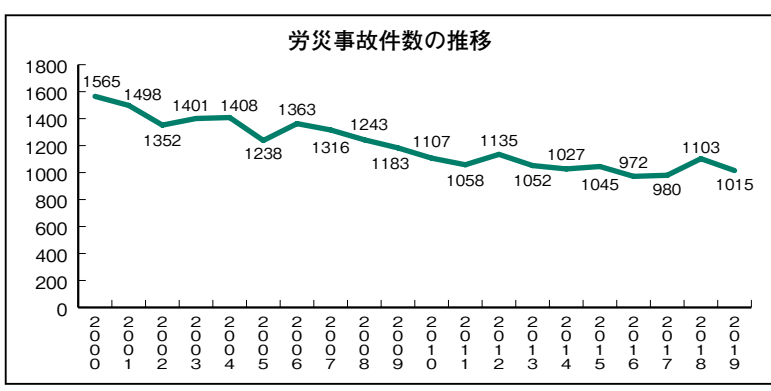
同調査の集計コース数は全国で  
13コースが減少し、東西別では東  
日本(1都1道15県)14コース減、  
西日本(2府27県)1コース増と  
なった。これで8年連続の減少と  
なっている。

調査結果についてみると、過去  
1年間の延べ労災件数は1015  
件にのぼり、前年に比べ88件、7  
・98%減少した。3年ぶりに前年  
を下回る結果となっている。

労災件数を東西に分けると、東

日本(855コース、前年比14コ  
ース減)が472件で前年比51件  
減、9・75%減と大きく改善する  
一方、西日本(861コース、1  
コース増)でも543件で37件減、  
6・38%減と改善している。

2000年代の労災事故件数の  
推移(左のグラフ参照)をみると、  
2000年の1565件から漸減



傾向となり、16年に972件と千件を割った。17年980件、18年1103件と2年連続で増加し、再び千件台に戻ってしまったが、19年は2年ぶりの減少となり、改善されている。

1コース当たりの災害件数は0・59件で、前年に比べ0・04件の減少となっている。東西別では、東日本0・55件(前年比0・05件減)、西日本0・63件(同0・12件減)だった。

**死亡事故は7件、前年に比べ4件の増加に**

次に事故の内容だが、事故は重大事故(死亡、永久労働不能、永久一部労働不能)と、休業災害(30日以上、8日以上、4〜7日、1〜3日)に分けられる。

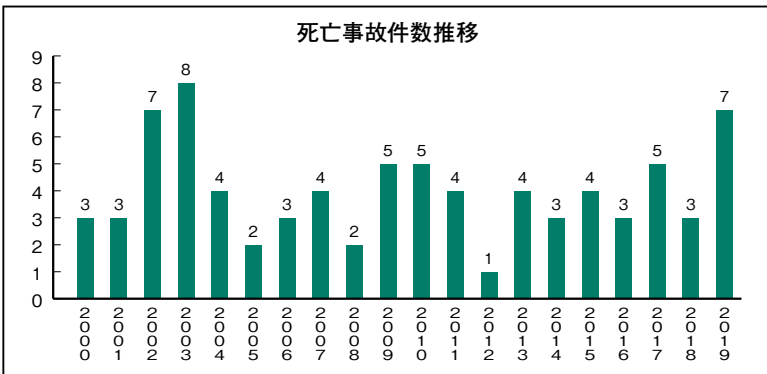
重大事故については、19年は死亡7件(東日本4件、西日本3件)、永久労働不能3件(西日本のみ3件)、永久一部労働不能2件(西日本のみ2件)の計12件発生している。前年は死亡3件、永久一部労働不能3件の計6件だったことで、前年よりも大きく悪化したことになる。

死亡事故は北海道で2件、山形

県、千葉県、愛知県、福岡県、熊本県でそれぞれ1件発生した。原因は、コース管理中の事故が6件、通勤中の事故が1件だった。

コース管理中の事故では、ほとんどが作業車や作業機械の下敷きになるケースとなっている。斜面や法面での作業が多いため、重大な事故につながる危険性が高い。

死亡事故件数推移



そのことをわかって毎日作業していても、一瞬の動作や判断ミスが命取りとなってしまう。

19年の死亡事故7件は、2000年代では2002年と同水準となった。ここ10年では12年のように1件の年もあったが、多くて5件、平均3〜4件で推移している状況となっている。死亡事故ばかりではなく、怪我の軽重に関わらず事故は撲滅しなければならぬ。事故ゼロ、死亡ゼロが当たり前となる環境作りを、ゴルフ業界挙げて取り組む必要があり、労災ゼロの意識を常に持つことも大切である。

**都道府県別状況は、千葉が108件で最多、件数ゼロはなく福島県1件が最少**

都道府県別の労災状況は、千葉県の108件(前年106件)をはじめ、神奈川県77件(87件)、兵庫県67件(74件)、埼玉県59件(64件)、愛知県58件(73件)、福岡県51件(48件)などとなり、都市部でゴルフ場数の多いところでの発生件数が高い。逆に発生件数の少ない順では、福島県1件(1件)、岩手、群馬、福井、鳥取4県各2

件、青森、山形、島根3県各3件などと続いている。労災事故ゼロは、18年に山形県があったものの、19年はなかった。

前年との比較をみると、「前年と比較して増加」したのが18府県(東日本6県、西日本12府県、前年24都道府県)、「前年と変わらず」が4道県(東日本2県、西日本2県、前年5県)、「前年と比較して減少」が24都道府県(東日本9都道府県、西日本15府県、前年17県)となっている。

**職業別では「キャディー」原因別では「行動」の労災発生が多い**

労災発生の職業別件数は、「キャディー」が前年に比べ59件減の493件と最も多く、次いで「コース管理」51件減の254件、「その他各部署」11件増の212件となっている。西日本のみ集計の「レストラン」での労災発生は前年比11件減の56件だった。

原因別件数では、滑り・ふみ外し・転倒転落等に起因する「行動」が645件で前年比38件減、カート・コース管理機械車輛等に起因する「機械」が111件で41件減、

労働災害実態調査 (2019年1月1日～12月31日)

●東日本

東日本ゴルフ場支配人会連合会

	コース数	程度別災害件数					職種別件数			原因別件数				1コース 当たり 災害件数
		死亡	永久 労働不能	永久一部 労働不能	休業災害	合計	キャディ	コース 管理	その他	打球	行動	機械	その他	
2019年	855	4	0	0	468	472	250	105	117	36	284	58	94	0.55
2018年	869	0	0	3	520	523	290	128	105	42	319	73	89	0.60
増減	-14	4	0	-3	-52	-51	-40	-23	12	-6	-35	-15	5	-0.05
伸び率	-1.61%	—	—	-100.00%	-10.00%	-9.75%	-13.79%	-17.97%	11.43%	-14.29%	-10.97%	-20.55%	5.62%	-8.33%

●西日本

西日本ゴルフ場支配人会連合会

	コース数	程度別災害件数					職種別件数			原因別件数				1コース 当たり 災害件数
		死亡	永久 労働不能	永久一部 労働不能	休業災害	合計	キャディ	コース 管理	その他	打球	行動	機械	その他	
2019年	861	3	3	2	535	543	243	149	95	23	361	53	56	0.63
2018年	860	3	0	0	577	580	262	177	96	38	364	79	63	0.75
増減	1	0	3	2	-42	-37	-19	-28	-1	-15	-3	-26	-7	-0.12
伸び率	0.12%	0.00%	—	—	-7.28%	-6.38%	-7.25%	-15.82%	-1.04%	-39.47%	-0.82%	-32.91%	-11.11%	-16.00%

●全国

	コース数	程度別災害件数					職種別件数			原因別件数				1コース 当たり 災害件数
		死亡	永久 労働不能	永久一部 労働不能	休業災害	合計	キャディ	コース 管理	その他	打球	行動	機械	その他	
2019年	1,716	7	3	2	1,003	1,015	493	254	212	59	645	111	150	0.59
2018年	1,729	3	0	3	1,097	1,103	552	305	201	80	683	152	152	0.63
増減	-13	4	3	-1	-94	-88	-59	-51	11	-21	-38	-41	-2	-0.04
伸び率	-0.75%	133.33%	—	-33.33%	-8.57%	-7.98%	-10.69%	-16.72%	5.47%	-26.25%	-5.56%	-26.97%	-1.32%	-6.35%

注・程度別災害件数＝「永久労働不能」は障害等級1～3級のもの、「永久一部労働不能」は障害等級4～14級のもの、原因別件数＝「行動」は滑り・ふみ外し・転倒転落等の行動に起因する災害件数、「機械」はカート・コース管理機械車輛等に起因する災害件数、※西日本のみ集計＝職種別件数「レストラン」56件（前年比11件増）、原因別件数「通勤」50件（前年比14件増）

「打球」が59件で21件減、「その他」が150件で2件減、西日本のみ集計の「通勤」が50件で14件増となった。19年のゴルフ場内における原因別件数は、すべて前年よりも改善されている。

職業別でキャディ、原因別で行動が突出して事故が多い状況は、これまで通り変わっていない。セルフプレーが主流になりつつある中でも、キャディ業務で動けば動くほど、それだけ事故に遭う可能性が高くなっている。

なお西日本ゴルフ場支配人会では2015年から、総従業員のうち業務委託及び派遣の労働者について「労災適応非従業員」（6655人、13人減）として労災実態がわかるようにまとめている。

19年の労災適応非従業員における延べ労災件数は21件（13件）にのぼった。重大事故は「死亡」ゼロ件（前年ゼロ件）、「永久労働不能」ゼロ件（ゼロ件）、「永久一部労働不能」1件（ゼロ件）。職種別では「キャディ」8件（4件）、「コース管理」10件（9件）、「レストラン」3件（ゼロ件）、「その他各部署」ゼロ件（ゼロ件）。原因別では「打球」ゼロ件（1件）、

「行動」13件（9件）、「機械」1件（5件）、「その他」6件（1件）となっている。

**ゴルフ場従業員数、3年振り減千葉、兵庫は1万人超え**

一方、ゴルフ場従業員（キャディ・臨時雇用・パートを含む）の数は全国1716コースで11万6900人にのぼる。東西別では、東日本は5万3608人、西日本は5万7082人。前年との比較では、東日本381人減、0・71%減、西日本317人減、0・55%減、全体では698人減、0・63%減となった。東日本、西日本とも微減だが、3年ぶりのマイナスとなった。

ちなみに、西日本の従業員数は業務委託及び派遣の労働者も含んでおり、5万7082人の内訳は労災適応従業員5万427人、労災適応非従業員6655人となっている。

1コース平均の従業員数を算出すると64・50人となり、前年に比べ0・92人、1・44%の増加。18ホールで換算（総ホール数3万6543ホール）すると54・52人で、前年比0・81人、1・52%の増加

だった。集計コース数の減少によ  
って、平均が押し上げられた形だ。  
都道府県別従業員数では、「前  
年と比較して増加」は東日本7都  
府県、西日本9県の計16都府県（前年  
は24道府県）、「前年と変わらず」  
は東日本4道府県、西日本1県の計  
5道府県（7県）、「前年と比較し  
て減少」は東日  
本6県、西日本  
19府県の計25府  
県（15県）と、  
減少傾向が多く  
なった。

従業員数トッ  
プは2年ぶりに  
千葉県で、前年  
に比べ107人  
増の1万191  
人だった。2位  
は昨年トップの  
兵庫県で前年比  
27人減の1万1  
49人。従業員  
数が1万人を超  
えたのは昨年と  
同様に千葉、兵  
庫2県。3位以  
下は北海道63

労働災害実態調査

	2019年			2018年			増減			19年1コース平均		従業員100人 当たり 労災件数
	コース数	労災件数(人)	従業員数	コース数	労災件数(人)	従業員数	コース数	労災件数(人)	従業員数	労災件数(人)	従業員数	
北海道	105	40	6,392	107	69	6,392	-2	-29	0	0.38	60.9	0.63
青森	11	3	490	11	1	500	0	2	-10	0.27	44.5	0.61
岩手	18	2	719	18	1	719	0	1	0	0.11	39.9	0.28
秋田	14	4	470	14	4	439	0	0	31	0.29	33.6	0.85
宮城	27	15	1,296	27	14	1,058	0	1	238	0.56	48.0	1.16
福島	26	1	1,175	29	1	1,361	-3	0	-186	0.04	45.2	0.09
山形	10	3	336	10	0	336	0	3	0	0.30	33.6	0.89
新潟	34	6	1,679	35	8	1,725	-1	-2	-46	0.18	49.4	0.36
群馬	58	2	2,907	59	4	2,913	-1	-2	-6	0.03	50.1	0.07
栃木	104	48	4,980	105	52	5,397	-1	-4	-417	0.46	47.9	0.96
茨城	106	48	6,355	107	51	6,343	-1	-3	12	0.45	60.0	0.76
千葉	119	108	10,191	120	106	10,084	-1	2	107	0.91	85.6	1.06
埼玉	63	59	4,901	67	64	5,059	-4	-5	-158	0.94	77.8	1.20
東京	16	30	1,864	16	31	1,829	0	-1	35	1.88	116.5	1.61
神奈川	51	77	4,855	51	87	4,845	0	-10	10	1.51	95.2	1.59
山梨	38	16	2,382	38	21	2,382	0	-5	0	0.42	62.7	0.67
長野	55	10	2,616	55	9	2,607	0	1	9	0.18	47.6	0.38
東日本計	855	472	53,608	869	523	53,989	-14	-51	-381	0.55	62.7	0.88
愛知	54	58	4,763	54	73	4,838	0	-15	-75	1.07	88.2	1.22
岐阜	71	42	4,758	71	43	4,522	0	-1	236	0.59	67.0	0.88
三重	56	23	4,088	56	38	4,055	0	-15	33	0.41	73.0	0.56
福井	10	2	450	10	6	481	0	-4	-31	0.20	45.0	0.44
石川	23	14	1,186	23	7	1,164	0	7	22	0.61	51.6	1.18
富山	15	8	973	15	5	995	0	3	-22	0.53	64.9	0.82
大阪	29	22	3,450	29	27	3,588	0	-5	-138	0.76	119.0	0.64
滋賀	29	16	2,288	29	10	2,260	0	6	28	0.55	78.9	0.70
京都	24	15	2,018	25	12	2,045	-1	3	-27	0.63	84.1	0.74
奈良	30	24	2,466	30	30	2,563	0	-6	-97	0.80	82.2	0.97
和歌山	17	7	714	15	3	762	2	4	-48	0.41	42.0	0.98
兵庫	136	67	10,149	137	74	10,176	-1	-7	-27	0.49	74.6	0.66
鳥取	8	2	334	8	3	289	0	-1	45	0.25	41.8	0.60
島根	7	3	222	7	1	250	0	2	-28	0.43	31.7	1.35
岡山	36	18	1,962	37	35	1,949	-1	-17	13	0.50	54.5	0.92
広島	42	14	2,105	42	10	2,073	0	4	32	0.33	50.1	0.67
山口	22	8	1,362	19	21	1,289	3	-13	73	0.36	61.9	0.59
愛媛	19	7	918	19	5	930	0	2	-12	0.37	48.3	0.76
香川	17	11	932	17	6	936	0	5	-4	0.65	54.8	1.18
徳島	12	6	532	12	3	565	0	3	-33	0.50	44.3	1.13
高知	11	18	644	11	22	675	0	-4	-31	1.64	58.5	2.80
福岡	48	51	3,501	49	48	3,499	-1	3	2	1.06	72.9	1.46
佐賀	15	12	936	15	13	951	0	-1	-15	0.80	62.4	1.28
長崎	21	15	842	21	20	872	0	-5	-30	0.71	40.1	1.78
大分	19	10	807	19	10	814	0	0	-7	0.53	42.5	1.24
熊本	34	13	1,407	34	17	1,407	0	-4	0	0.38	41.4	0.92
宮崎	18	40	1,041	17	20	1,081	1	20	-40	2.22	57.8	3.84
鹿児島	25	13	1,246	25	13	1,354	0	0	-108	0.52	49.8	1.04
沖縄	13	4	988	14	5	1,016	-1	-1	-28	0.31	76.0	0.40
西日本計	861	543	57,082	860	580	57,399	1	-37	-317	0.63	66.3	0.95
合計	1,716	1,015	110,690	1,729	1,103	111,388	-13	-88	-698	0.59	64.5	0.92

調査：東日本ゴルフ場支配人会連合会、西日本ゴルフ場支配人会連合会。従業員数はキャディ、臨時雇、パートを含む。西日本支配人会では2014年から従業員数に委託、派遣社員の労働者含む。西日本の表では従業員と非従業員（委託、派遣等）に分けて集計しているが本誌では合計人数で表示している。

多かった。集計コース数の減少によ  
って、平均が押し上げられた形だ。  
都道府県別従業員数では、「前  
年と比較して増加」は東日本7都  
府県、西日本9県の計16都府県（前年  
は24道府県）、「前年と変わらず」  
は東日本4道府県、西日本1県の計  
5道府県（7県）、「前年と比較し  
て減少」は東日  
本6県、西日本  
19府県の計25府  
県（15県）と、  
減少傾向が多く  
なった。

92人（前年と同）、茨城県63  
55人（12人増）、栃木県498  
0人（417人減）、埼玉県49  
01人（158人減）、神奈川県  
4855人（10人増）などと続き、  
上位陣は大都市圏及びコース数の  
多いところで占めている。逆に最

も少なかったのは島根県の222  
人（28人減）となっており、従業  
員500人未満は計6県、100  
0人未満では17県にのぼった。前  
年との増減率でみると、大幅な増  
加は宮城県の23・63%増、最も減  
少したのは福島県の13・32%減だ

った。  
ちなみに、1コース平均の従業  
員数から全国のゴルフ場2229  
コース（本誌基準、19年末段階）  
の従業員数を推計すると14万37  
81人で、前年に比べ1424人  
増えている。